



新たな公園活用に向けた検討について
— パークファンの取組み —

建設局 公園緑化部

みんなで公園活用事業（パークファン）

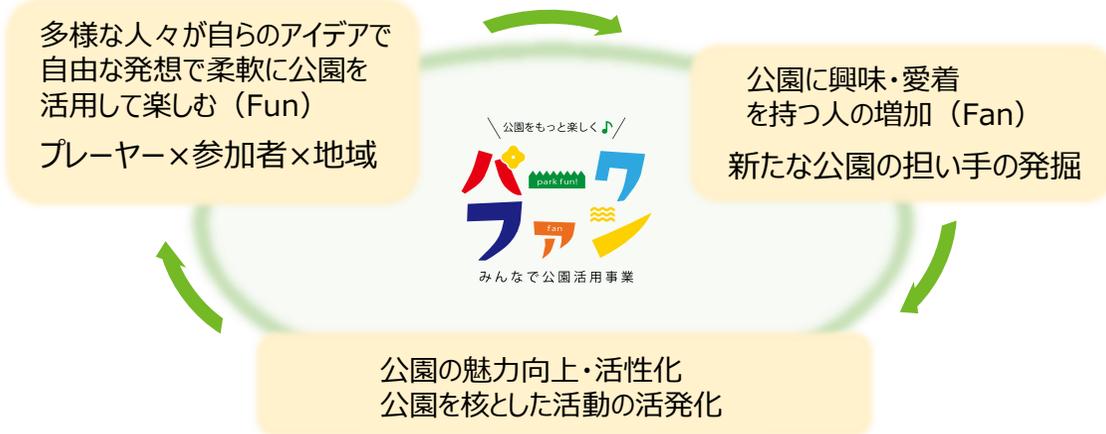
事業背景

公園は、都市のにぎわい創出の場や豊かな暮らしを支える場など、多様な機能をもった公共施設

- そのポテンシャルを発揮するために、これまで以上により一層柔軟に使いこなすことが求められている
- コロナ禍においても、3密を避けながら様々な活動を展開できる、都市の貴重なオープンスペースとしても注目されている

事業目的

これまでの一般的な公園の使い方に加え、都市の貴重なオープンスペースである公園の特性を活かしながら、多種多様な人々が自らのアイデアで公園を活用をする。



- ✓ だれもが自分たちの公園を自由な発想で、より柔軟により楽しく使いこなすための施策「みんなで公園活用事業」（愛称：パークファン）を推進
- ✓ 公園がみなさんにとってもっと楽しい (fun) 場所となるように、そして公園のファン (fan) が増えるようにという思いが込められている

・新たな人のつながりによる**地域コミュニティの活性化**

- ✓ 健康増進・子育て活動の活発化
- ✓ 地域課題の解決

・住むまちとしての**都市魅力の向上**

- ✓ 市民生活が豊かになる
- ✓ 自分のまちが好きになる

令和3年度 試行実施概要

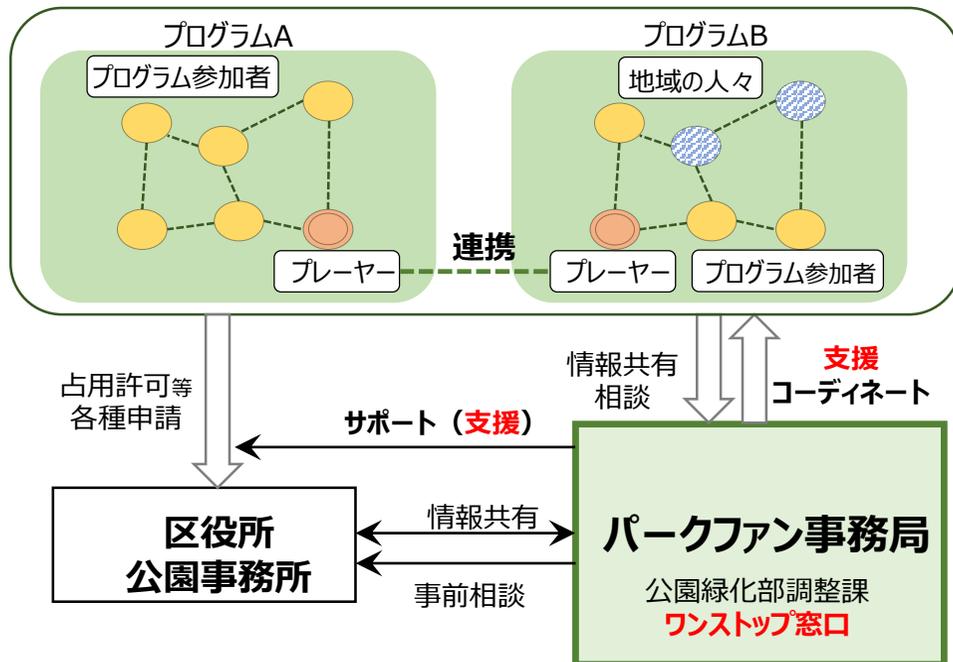
公園を活用した取り組みについて、企画段階から運営まで実施していただく市民・事業者の方（＝以下、プレーヤー）を募集し、プレーヤーが行う**企画運営**、公園の**使用許可申請**、各種**協議**、広報（**情報発信**）などをパークファン事務局が**支援**した。
また、今後、継続的に実施するための支援や情報発信の手法などを検討した。

パークファン事務局がプレーヤーとの**対話（支援）**を通じて、プレーヤーがやりたいことを実現していく。



- プレーヤーの特技を生かした公園活用
- 地域との連携・交流
- 公園活用における好循環

R3年度パークファン 実施状況（9公園 11プログラム）



公園をもっと楽しく♪

みんなで公園活用事業

参加者募集!
開催日、開催公園などの詳細はホームページでご確認ください。

公園をもっと楽しく、もっと柔軟に

パークファンとは
もっと自由な発想で、もっと柔軟に、もっと楽しく公園を使いこなす「みんなで公園活用」(通称：パークファン)を進めています。
市民や事業者の皆さん自身が、主役となって活躍できるように、公園を使ってやってみたいことを応援します。「パークファン」という名称には公園が皆さんにとってもっと楽しい(fun)場所となるように、そして公園のファン(fun)が増えるよという思いを込めて事業を進めています。

令和3年度から、大阪市では市民や事業者の皆さんとともに、もっと自由な発想で、もっと柔軟に、もっと楽しく公園を使いこなす「みんなで公園活用」(通称：パークファン)を進めています。

大阪市

【お問い合わせ】 Tel: 0800-888-4856(フリーダイヤル)
Mail:chanahaku30@city.osaka.lg.jp

パークファン大阪市

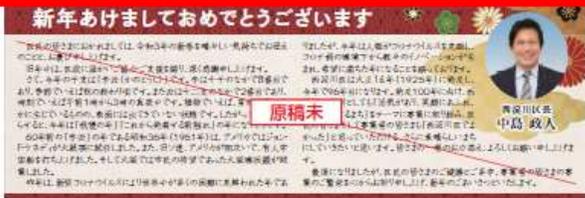
令和3年度 支援内容①

広報支援

「広報の出し方が分からない」
「有効な広報が何かが分からない」

- プレーヤー企画プログラムの広報支援
- パークファン認知向上

区政だより



1月西淀区役所広報紙

「PARK JAM」で効果的であった区政だよりについて、引き続き、プログラムごとに各区へ広報の協力を依頼

電子媒体 (HP・SNS)

SNS・・・Twitter, Facebook, Instagram, LINE



「パークファン」HP



子育て情報誌アプリ「まみたん」

独自のチラシ

ロゴマークとHPのQRコード



パークファン事務局の連絡先

アナログプリントでつくる青空美術館
ルールを決めて地域回覧・配架用にプレーヤー独自のチラシを作成

※パークファン全体のチラシについてはメトロや郵便局へ配架することで広くパークファンの取り組みを知ってもらうための情報発信を行った

令和3年度 支援内容②

許認可

「どこでどのようにいつ申請したらよいかわからない」
 「許可をもらえる基準がわからない」

- 公園事務所への同行
- 公園活用のための手引きの作成



- ワンストップ窓口として公園事務所への事前協議の同行
- 企画書や申請書のフォーマットを作成・記入方法の支援



公園活用までの流れ

占用許可申請書の記入例

- プレーヤーへのヒアリングを実施し、プレーヤーのためのパークファン手引きを作成
 パークファンに係る公園活用の手引き案作成 フロー



8月

1月

2月